



1000頭の雄鹿から10本あまりしかできない精気充実した1番品質の良い特級品のみを厳選して年に1度、その年の予定数量を買い付け。買い付けした鹿茸は関西国際空港に到着、厳重な入関検査を経て成光に。入荷時には必ず1本1本の重量を計測して記録する。品質保全のため全品を冷蔵庫で大切に保管する。



若い雄鹿といっても頭部まで約2m!! まるで馬である。切り落とした袋角は1本2~3kg。切り口からは鮮血が吹き出す。それをすばやく殺菌加工し、乾燥したものが半年後1kg前後になって市場へ。品質により等級区別され、特級、1級、2級以下、5級まである。



大自然あふれる養鹿場で、放牧されるマンシュウアカシカ(馬鹿茸)。この生長途中であるやわらかく温く血がいったい流れている袋角が「鹿茸」。毎年春に3~7歳位の若い雄鹿から採取する。

特集

禄丈製造の匠衆!!

今回は鹿茸(マンシュウアカシカの袋角)が、どのようにして製品「禄丈」に造られていくか、その製造工程、品質管理工程を特別に紹介します。



鹿茸だけに限らず、成光に入荷した原料すべてに試験を行う。性状はもちろんのこと、純度試験、又、塩化物、硫酸塩、重金属、ヒ素、農薬などが混入していないかを試験する。禄丈であれば、賦形剤を含めて14原料あり、この14原料すべての試験を合わせると、135項目にもなる。



スライスされた鹿茸を強力な粉砕機、スタンプミルで粉砕する。粉砕したものを取り出し、手作業でトウシにかけ、少しの風でも吹き飛ばすような細かい粉末と、荒いものに分けられる。より細かい粉末を作るため、手作業でするほかなく、又、1度に少量ずつしか粉末にできないため地道な作業を必要とする。



入荷した鹿茸には5mm~10mm程の幼毛がびっしり。成光ではそれらを専用パーナーを使い鹿茸の品質を変えないよう細心の注意を払って焼き取っていく。凹凸が多く密集した幼毛を焼くのは容易ではなく、かなりの熟練を要する。鹿茸は次に粉末にしやすいよう、専用カッターで5mm~10mm幅にスライスされる。



混合された粉末にエキス剤などの液体が加えられ、練合を繰り返し製丸機にかける。製丸中は常に水分量、形状、重量を注意し、また、重量にいたっては機械にできないか5分に1度、計量器で測定する徹底ぶり。丸剤の製丸工程はとてもデリケートで細心の注意が必要となる。



調合された粉末は混合機に入れられる前に全量を手作業でフルイに3回かける。この手作業の工程を根気よく丁寧にすることで細かく混合され、より質の高い製品造りにつなげることができる。



試験に合格した原料を調合室に集める。それらを製造指図書に基づき鹿茸をはじめ、人参、当帰、サフラン等すべての原料の秤量に間違いがないか、まず製造部員によってダブルチェックされ、最後に社長自ら秤量を確認し、大自然の神気を封入し調合する。



用法・用量 大人1回5粒 1日2回
 ・小瓶(210粒入—21日分) …… ¥10,290(税込)
 ・徳用大瓶(1200粒入—4ヶ月分) …… ¥52,290(税込)
 ・徳用大瓶3本入(12ヶ月分) …… ¥156,870(税込)

中間試験に合格した丸薬は正確な入数に瓶詰される。これにラベルが貼られ、セロハンを巻き、箱詰される。このように出荷できる状態になったものからランダムに引き抜かれ再び定量し、ロットはきちんと捺印されているか、入数に間違いはないかなど製品として問題ないかを調べる最終試験が行われる。この最終試験に合格して出荷できる製品となるのだが、成光では合格した製品の最初の一品は感謝報告として、神前へのお供えを執り行ない、その後初めてお客様の元へ出荷となる。鹿茸の毛焼き工程から出荷できる製品になるまでには最短でも20日間もの日数を要する。



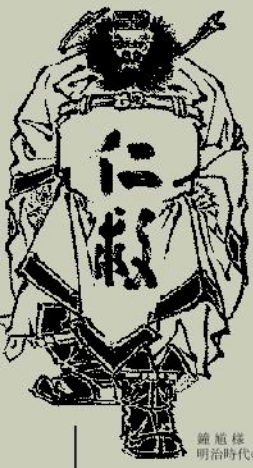
丸薬の製造に平行してバリデーションと呼ばれる品質確保の科学的検証と、日常工程の管理、質量偏差、含量均一性等の試験が行われる。2度目の選別が終わり出来上がった丸薬は、中間試験が待ち受けている。ここでは薄層クロマトグラフによる成分の確認試験、高速液体クロマトグラフによる定量試験を行う。医薬品として決まった成分が規定量含まれているかの試験。



自然乾燥・風乾燥・低温乾燥とじっくり時間をかけることにより、丸薬の割れを防止し、また品質低下がなく確実に乾燥することができる。乾燥した丸薬をまず裸丸の状態に選別。裸丸で選別したものにコーティングが施され、それらをさらに選別する。この2度にわたる選別は、機械を使用せず、一粒一粒人の目で、丹念に行われる。



成光はツキを呼ぶ独自の薬を創る会社です
 成光薬品工業株式会社
 〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町大塚739
 TEL 0745-55-0044 FAX 0745-55-5265
 URL http://www.asm.ne.jp/~seikou/



理念
 ○漢方薬医薬品の販売は、一人一人の人間を救う事ができる神の御業である
 ○中身は日本一、天下一、神に捧げる品也
 ○人を育てるとは、天に通じる心をみがく事にある
 鐘瓶様 明治時代の版木より

成光薬品の相談窓口

Q(相談) 58歳 女性
 先月、大きな手術をして、現在は療養中です。元の元気を取り戻そうとリハビリに頑張っています。禄丈を飲みたいのですが、飲んで大丈夫でしょうか?
 A(回答)
 禄丈は、病中病後にとてもよいお薬です。病院からのお薬と飲み合わせても大丈夫です。

このように、成光薬品では相談窓口を開設しております。お電話の際は「相談窓口お願いします」と、お気軽にお申し付け下さい。
 相談窓口 **0745(55)0044**
 受付時間 10時~17時(土・日・祝を除く)
 相談窓口担当者 管理薬剤師 小原 喜博
 おはら よしのぶ

ツキを呼ぶカレンダー

創業100周年を記念して作られ始めたミニカレンダーも今回で3回目となりました。挿絵はもちろん、今回も東大寺持寶院の上司永照師によるものです。今回のカレンダーに書かれている「ひとのよるこびをよるこび ひとのかなしみをかなしむ」簡単そうですが、実は非常に難しいことではないでしょうか。平成19年はこの「慈悲喜捨」の精神を忘れずに生活していきたいものです。



神武天皇の力をいただく

成光の薬士の皆さんは、去る11月16日榊原神宮を参拝しました。大自然の恩恵を授かり今年も精一杯仕事をさせて頂いた御礼と、お客様のますますの健康を祈念し、希望に満ちた素晴らしい明日のために、心を新たにして参拝致しました。榊原神宮には初代天皇である神武天皇がお祀りされています。神武天皇は神武東征の説話にもありますように、日向国を発ち、艱難辛苦を重ね、国を統一して榊原の地で即位したとされる勇ましい天皇です。薬士の皆さんは、この神武天皇から大きな力と勇気を頂き、健康と元気をお届けできるようにお誓いを致しました。

